

よかろ〜ず de 銀座 Vol.5 メンバー紹介

吉井俊倫(Ag)

5歳よりクラシックギターを始める。中学時代にブリティッシュロック（特にプログレッシブロック）に影響を受けエレキギターを始める。その後ジョン・マクラフリンやアラン・ホールズワースのプレイに衝撃を受けジャズやフュージョンにも傾倒してゆく。

20歳よりプロ活動を始め、ステージやスタジオでのプレイの他、アレンジやプログラミングもこなす。

「DREAMS/ 河野啓三」ではその中核をになう存在であり、都内を中心にセッションライブも展開している。

河野啓三:作編曲(Piano,Keyboard)

1971年2月4日東京生まれ(亥) B型、水瓶座

6才でエレクトーンを始め、16才でピアノやキーボードにも進み、それぞれ岩崎大輔氏、稲田保雄氏に師事する。

1989年、田野城寿夫率いるフュージョン・バンドタイムスパイラルでプロ活動に入り、その後、坂本冬美、八代亜紀、渡辺真知子、光田健一、等のサポートをする傍ら、2000年春、KENSOの25周年ライブとLAで行われたプログフェスト2000にサポート参加。(それぞれ「謙遜愚素」「PROGFEST2000」としてCD化)

2000年秋、T-SQUAREへサポート参加、2004年に正式メンバーとなる。2006年フジテレビF1グランプリ・テーマソング「Truth」、サウンド・プロデュース。2008年日本マクドナルドTV-CM曲「Islet Beauty」、サウンド・プロデュース&CM出演。

引き続き活動中。

2011年、ソロアルバム「DREAMS」リリース。2014年、山崎千裕デビューアルバム「GOOD ONE」プロデュース。平行して、ジェロ、安達久美クラブバンゲア等、数多くのアーティストサポート及びセッションライブも展開している。

演奏面に加え、作・編曲、プログラミングなど多岐に渡る活躍で音楽業界でも注目の存在である。

渡辺剛(Violin)

堀川高校音楽科(現 京都市立京都堀川音楽高等学校)。

東京芸術大学音楽学部卒業。

1989年、クラシック音楽の枠を超えた活動として現役芸大生によるツインバイオリンのグループ「Gクレフ」に参加。

新しいジャンルとして高い評価を受け、アルバム制作、NHK音楽番組レギュラー出演、全

国ツアーなどメジャー活動。(CBS/SonyRecords)1990年のNHK紅白歌合戦には、白組として初出場した。

解散後の1996年、ポップス系バイオリニストとしてソロアルバムデビュー。(Sony Music Entertainment)

映画音楽、舞台出演(野田秀樹作品)、舞踊、フラメンコのステージ等活動の場を広げ、同時に、スタジオミュージシャンとして、ポップス、演歌のステージ、レコーディングに日々携わってきた。シャンソン、カンツォーネにおけるサポートは長年に渡る。

2001年 自作曲によるパフォーマンスユニット「REDxRED SOUL COMPANY」スタート。

2005年にオリジナル曲集『WALKIN' TOMORROW』発表。

2002年～2010年までは「mind!」「The WILL」等のバンドでギターの白土庸介、ピアノの深町純、ドラムの堀越彰らとフリーなセッションを重ねた。

現在、シンガーソングライターの加藤登紀子(2006年から～)、ロックユニットのアリプロジェクト(1997年から～)、らのサポートも務める。